

主な復興事業の進捗状況と今後の予定 (第16回:テーマ「復興まちづくりの姿(半島部編)」)

毎月15日号では、主な復興事業の進捗状況と今後の予定をお知らせしています。今月号では、防災集団移転団地の整備状況や、半島部の復興まちづくりの拠点エリアとなる3つの地区の計画内容について紹介します。

防災集団移転促進事業の進捗状況

防災集団移転促進事業は、対象となる全51地区(市街地の5地区を含む)の国土交通大臣の同意が平成25年8月末までに完了し、熟度の高い地区から測量や地質調査、用地買収、設計等を行い、宅地の造成工事を行っています。

市では、防災集団移転促進事業の早期完了に向けて、CM(コンストラクションマネジメント)方式による工事発注を導入し、事業のスピードアップを図っていきます。

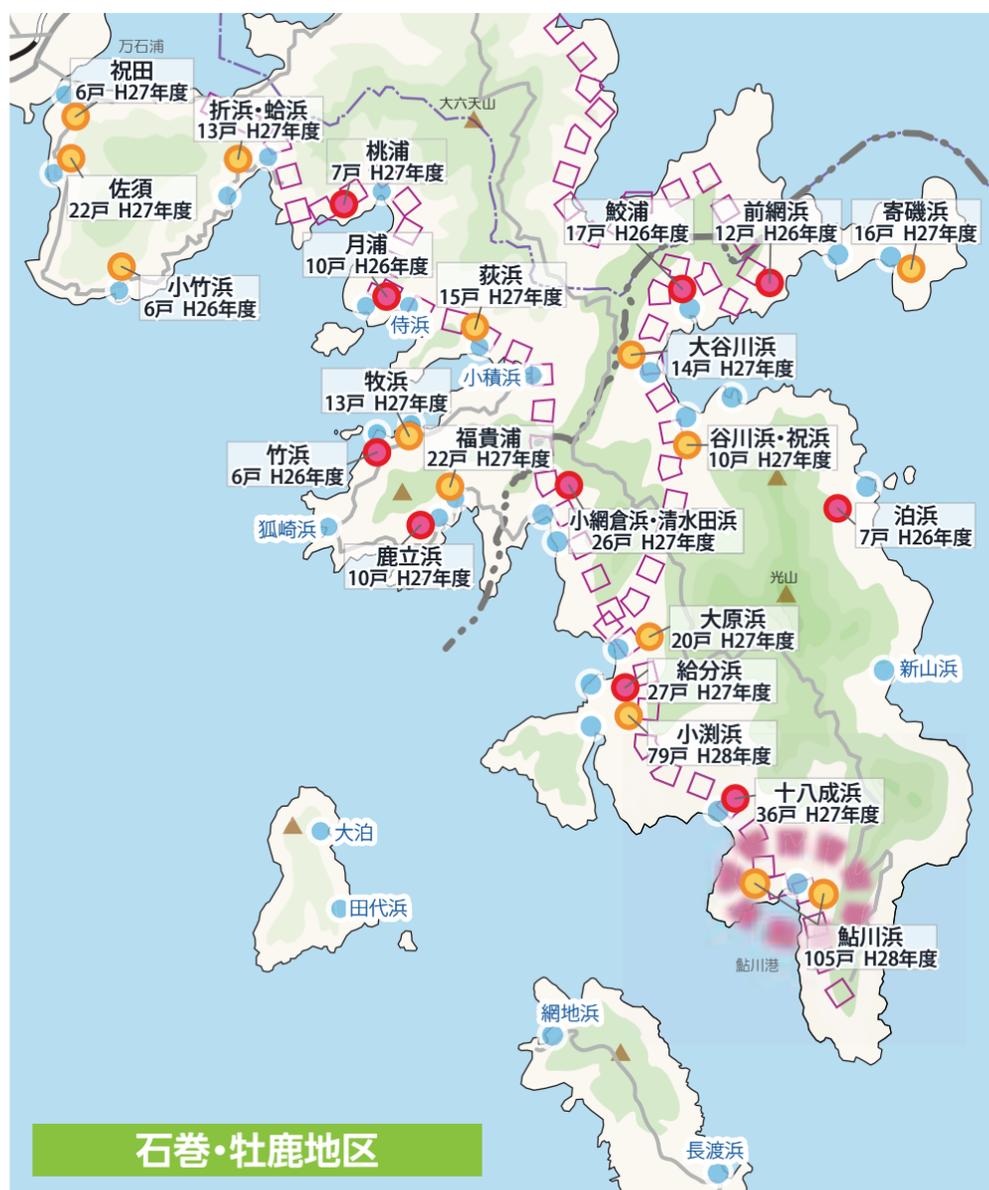


<CM方式とは>

集団移転事業のほか、多くの事業が同時に進行し、工事の施工管理を行う技術者の不足が課題となっています。

各所に点在する移転団地等の工事を一括化し、管理・施工のマネジメントをまとめて発注するものです。

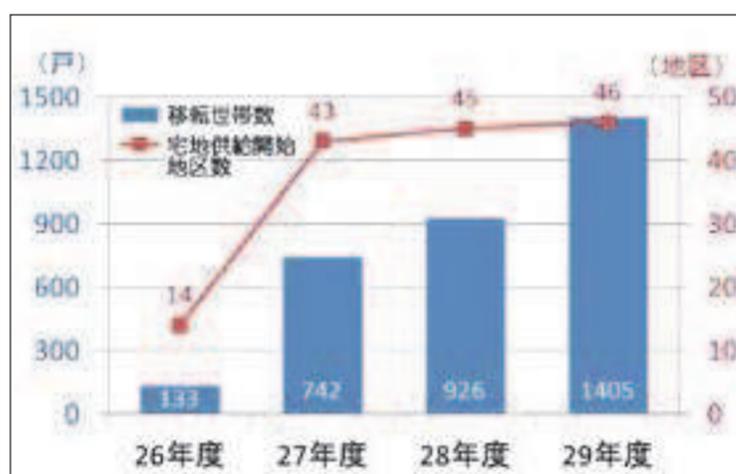
これにより、復興事業のスピードアップに寄与するだけでなく、契約の透明性と民間のノウハウを活用した効率的な施工が可能となります。



宅地造成予定の半島部46地区のうち、現在までに17地区で造成工事が施行されています。

残る29地区についても来年度中に全地区の造成工事に着手できる予定となっています。

なお、年度別の宅地供給開始予定地区数と移転世帯数は、下のグラフのとおりです。



グラフ：半島部の防災集団移転における年度別宅地供給開始地区数・移転世帯数



写真：防災集団移転団地の造成工事(左：前網浜、右：月浦)

まちづくりの拠点エリアの計画内容

にっこり団地地区の全体計画



健康ゾーン

スポーツ施設を中心とした地域住民の健康な生活を育むゾーン

教育ゾーン

3小学校が統合した北上小学校を移転し、既存の北上中学校と小中連携のとれた教育環境を整備するゾーン

公園・緑地ゾーン

地域住民や来訪者等の憩いの場・活動の場としての公園整備を行うゾーン

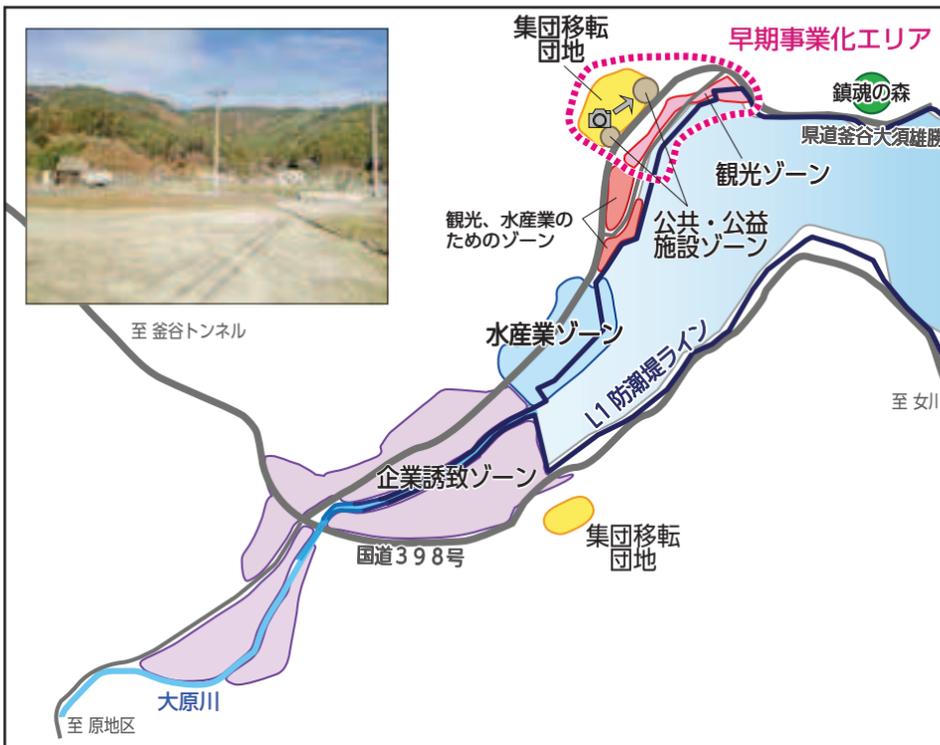
防災・行政ゾーン

北上総合支所・公民館を中心として、駐在所や消防署出張所等重要な公共施設を整備し、地域の中核機能を有するゾーン

福祉ゾーン

保育所や高齢者施設、放課後児童クラブ等地域の福祉の中心となる施設を整備するゾーン

雄勝中心部の全体計画図



企業誘致ゾーン

企業誘致のための基盤整備を行うゾーン

水産業ゾーン

水産加工場等水産業に関連する施設の復旧・再開・誘致のためのゾーン

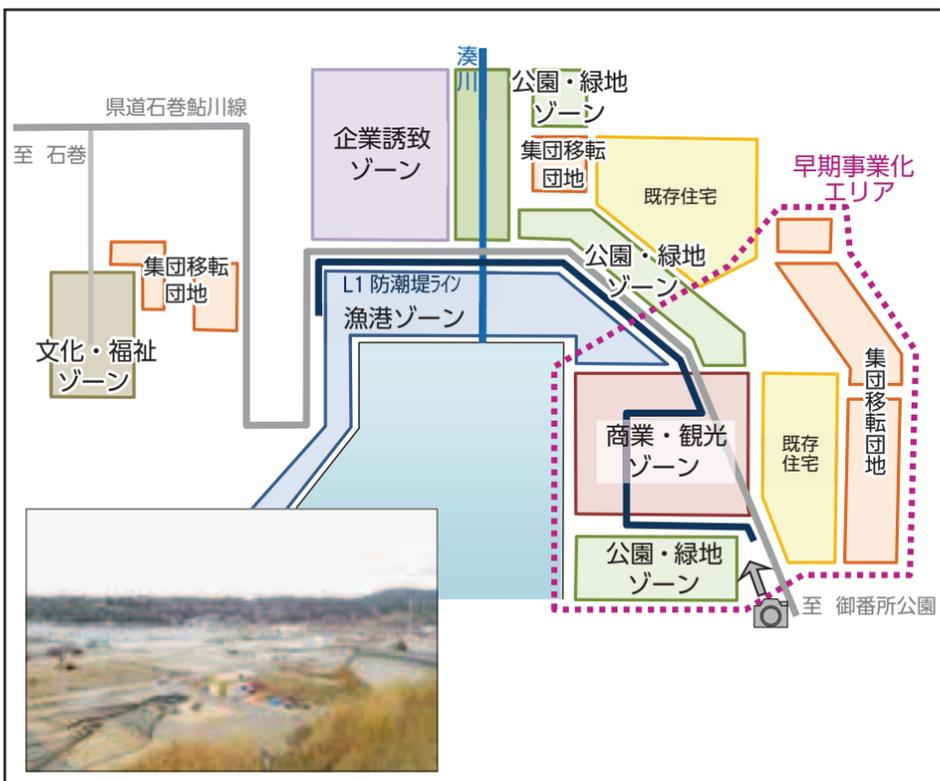
観光ゾーン

硯石や海産物を活用した観光拠点の整備、硯伝統産業会館の復旧や地域の賑わい・活力となる地域の商業再生のためのゾーン

公共・公益施設ゾーン

雄勝総合支所(公民館、郵便局)や駐在所や消防署出張所、漁協支所等地域の生活を支えるための公共・公益施設を集約したゾーン

鮎川地区の全体計画図



文化・福祉ゾーン

被災した公民館、体育館を既存の文化・福祉施設に隣接して整備し集約を行うゾーン

企業誘致ゾーン

被災した既存の地域産業の再生と、地域の新たな雇用を生み出す新産業の誘致を行うゾーン

商業・観光ゾーン

離島航路としての交通機能の復旧再開と、鯨・金華山等の観光拠点となるゾーン

漁港ゾーン

漁港機能の復旧・再開と捕鯨や定置網、銀ザケ、養殖等既存漁業の再生のためのゾーン

公園・緑地ゾーン

地域住民や観光客の憩い・活動の場となる公園・緑地の整備を行うゾーン